

## 令和6年度 第1回 亀玉小学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和6年4月18日（木） 13時30分から15時30分まで
- 2 開催場所 亀玉小学校 会議室
- 3 出席委員 太田富次郎、渡邊剛一、伊藤順子、平野和江、森田智佳、兼子賢治、甲斐加奈恵
- 4 欠席委員 なし
- 5 オブザーバー 北野谷富子（地元有識者）出席  
椛 通安（亀玉協働センター職員）出席
- 6 学校支援コーディネーター 町田和代
- 7 学 校 河内浩（校長）、村田昌士（教頭）、阿部泰幸（教務・CS担当）、村瀬美恵子（CSディレクター）
- 8 傍聴者 なし
- 9 会議録作成者 村瀬美恵子（CSディレクター）
- 10 協議事項

### （1）学校運営構想について

- ①学校運営構想の説明 ○学校の現状 ○令和6年度学校運営構想
- ②改善案の検討

### （2）学校いじめ防止基本方針について

- ①学校いじめ防止基本方針の説明
- ②改善案の検討

### （3）学校運営協議会の方針について

- ①学校運営協議会の方針（案）の説明
- ②改善案の検討
- ③夢育やらまいか事業への要望について

## 11 会議記録

今年度の会長に太田委員が就任した。太田会長は挨拶として、卒業式と入学式の感想、会長2年目に向けての抱負を述べられた。

続いて、河内校長が挨拶した。今年度が始まって2週間、落ち着いてスタートできている。家庭、地域の温かい声に支えられているとの話があった。

新学校運営協議会委員の兼子賢治委員と甲斐加奈恵委員に河内校長から任命書が手渡された。

続いて学校運営協議会規則について教頭から説明があった。特に、本協議会の目的、守秘義務について確認した。

その後、自己紹介と授業参観の感想を述べた。

- ・落ち着いた授業、運動場でのびのびした子供の姿が見られた。見守っていきたい。  
(太田会長)
- ・子供の元気な様子があった。幼い頃の自分と重ねた。(渡邊委員)
- ・席を立つこともなく落ち着いていた子供たち。1年生は楽しげでいい。(伊藤委員)
- ・1年生の絵に色の工夫、奥深さがある。体育の授業は楽しそうだった。多くの授業で目配りと気配りがされていた。(平野委員)
- ・楽しげな授業が多かった。学年によって学級の人数に差があることを感じた。体育館ではのびのびと活動していた。(兼子委員)
- ・全体に落ち着いていた。1・2年生の絵から感動を得た。花びらで絵をかくアイデアに

感心した。(甲斐委員)

- ・今年も落ち着いている。子供たちの手を振る姿は地域との連携のよさが表れている。支援級はよくまとまっている。今後も引き続きよろしくお願ひしたい。

(オブザーバー北野谷富子)

- ・子供たちは元気があり、落ち着きがある。(オブザーバー椀 通安)

- ・皆さんの意見も含めて、学校教育に活かしたい。(河内校長)

- ・いい学校になって来ている。秩序のある1年であってほしい。(村田教頭)

- ・校務アシスタント兼務。事務局の一員として努力したい。(CS ディレクター村瀬美恵  
今年度の副会長は、委員のうちから、会長が渡邊委員を指名した。全員、異議なくこれを承認した。

議長は、出席した委員の互選により、会長が森田委員を指名した。全員、異議なくこれを承認した。

議長の指示により、会長が前回会議録と令和5年度協議会自己評価の議事内容を読み上げた。委員全員で確認し、異議なく承認された。

議長の森田委員から、委員全員の出席があり、会議が成立している旨の報告があった。

#### (1) 学校運営構想について

##### ①学校運営構想の説明

学校の現状と令和6年度学校運営構想について、資料を基に校長が説明した。

児童数 313 名で全学年2学級、1年 38 名、6年 62 名と人数に差がある。職員、支援員が多い学校。昨年度、学校運営協議会で話し合っていたいただいた本校の強み(成果)や課題をふまえて、教育活動を推進する。

学校教育目標「自ら考え みがき合う子」とし、やさしい子(徳) かしこい子(知) たくましい子(体)を育てる。

また、教育推進にあたってキャリア教育、授業改善、教育の情報化(プログラム学習、タブレット・PC活用)、発達支援の充実、いじめの根絶、教科担任制、安全教育、コミュニティ・スクール、働き方改革の推進、楽しい授業、(職員の余裕)を意識していく。

子供たちの笑顔と希望に満ちた未来のために推進する。

##### ②改善案の検討

委員からは、以下の意見があった。

- ・一生懸命な先生が多い。我々も協力する。一緒に頑張っていきたい。(渡邊委員)
- ・一生懸命に考えて授業する先生の努力が、子供たちが落ち着いて意欲的に勉強する姿につながっている。ほっとするうちは授業に取り組む子供の姿勢がいい。いじめの奥深さは地域の協力と情報提供が必要。先生は手一杯、バランスの良い働き方改革を期待する。(伊藤委員)
- ・先生のチーム力が、子供の成長につながっている。協力したい。(平野委員)
- ・抱えている問題に対して、PTAが出来ることはカバーしたい。(兼子委員)
- ・一生懸命な先生の姿に有り難さを感じる。保護者の理解に期待する。先生と親の協力を期待する。(甲斐委員)
- ・ことを起こすことはパワーが必要。こぎ始めて、結果はすぐには出ない、持続して結果を出していこう。(太田会長)
- ・ビジョンが良く出来ている。授業研究をして、子供と家庭と地域がバランス良く頼り合いながら進めてほしい。(北野谷オブザーバー)
- ・学校運営構想はいい。協働センターが地域とのつなぎ役になるので、活用を期待する。

(梶オブザーバー)

- ・ボランティア（メタセコイア・あらッ子応援隊）を紹介したい。（森田委員）
- ・募集の際の希望者の受け入れは、守秘義務に努めて、慎重に対応したい。（河内校長）
- ・机が狭いことで、タブレットが落ちないか心配。教科書と資料、ノートが大きくなっているが大丈夫か。教室内、子供の減少と机の大きさも気になる。（北野谷オブザーバー）
- ・黒板の大きさに映写して授業を進められると、よく見えていい。（渡邊委員）
- ・防災面を考えたい。登下校中の避難方法や迎えの親への対応について検討が必要であると思う。（森田委員）
- ・実行力のある防災訓練の在り方はどうか。自治会との連携はどうか。この学校運営協議会から自治会、市議会へお願いをしたらどうか。（渡邊委員）
- ・情報の共有化として、赤佐小での地域防災、子供たちの冊子の作成が紹介された。  
(学校支援コーディネーター町田)
- ・市、消防、学校の防災の在り方について、今後検討していく。（北野谷オブザーバー）
- 委員全員で確認し、異議なく承認された。

## (2) 学校いじめ防止基本方針について

### ①学校いじめ防止基本方針について、村田教頭が資料に沿って説明した。

いじめの未然防止、早期発見に努めること、地域や家庭、関係機関との連携を進めていくこと等をしていく。年間計画に沿い、月1回のはあとチェックと年2回のアンケートを実施する。校内いじめ対策委員会で組織的に対応していく。

### ②改善案の検討

いじめは人権にかかわる問題であり、命の尊厳にかかわる問題。安全、安心な社会をいかにしてつくるかという、学校を含めた社会全体の問題だということを委員全員で確認し、異議なく承認された。

## (3) 学校運営協議会の方針について

### ①学校運営協議会の方針（案）を太田会長が説明した。

昨年度の学校運営協議会自己評価表【評価項目4】取組の重点の3点を案として話した。

- ・情報発信や周知方法の工夫による地域の協力とボランティア数の増加
- ・学校運営協議会への積極的な参画及び学校、家庭、地域の信頼関係の更なる構築、関係機関との連携
- ・学校教育活動を充実させるために必要な分野の地域人材の発掘と積極的活用

### ②改善案の検討

- ・学校、地域、家庭の連携の為、周知方法の工夫をしてとコミュニティ・スクールを浸透させたい。今後、試行錯誤しながら進めていく。（渡邊委員）
- ・ホームページは見る人が限定。広報への掲載は一方法ではないか。（平野委員）
- ・出来るだけ多くの人に見てもらおう工夫をしたい。何回も出して、回覧をしていく必要がある。（渡邊委員）

委員全員で確認し、案が異議なく承認された。

### ③夢育やらまいか事業への要望について

教頭が夢育やらまいか事業の昨年度の要望について説明をした。

方針で検討されたコミュニティ・スクールの広報やボランティアの拡充、児童の授業の充実といった内容の為に執行していくことについて、委員全員で確認し、異議なく承認された。

## 12 連絡事項

### (1) 学校運営協議会の計画

阿部教務から、学校運営協議会の計画に沿って説明がされた。

P D C A サイクル（スタート・チャレンジ・チェンジ・ステップアップ）を回しながら4回の協議会を絡めて進めていく。

### (2) 学校行事の予定

阿部教務から、学校年間教育活動計画案に沿って説明がされた。

特に、自ら考える力を伸ばす機会をつくっていくこと、スポーツフェスティバル・2回の学校評価・あらっこ学習発表会について紹介がされた。可能な限り、委員の参加をお願いしたいとのことだった。

### (3) 連絡方法について、村田教頭よりお願いがあった。

さくら連絡網にて1ヶ月前に開催通知を発行する。